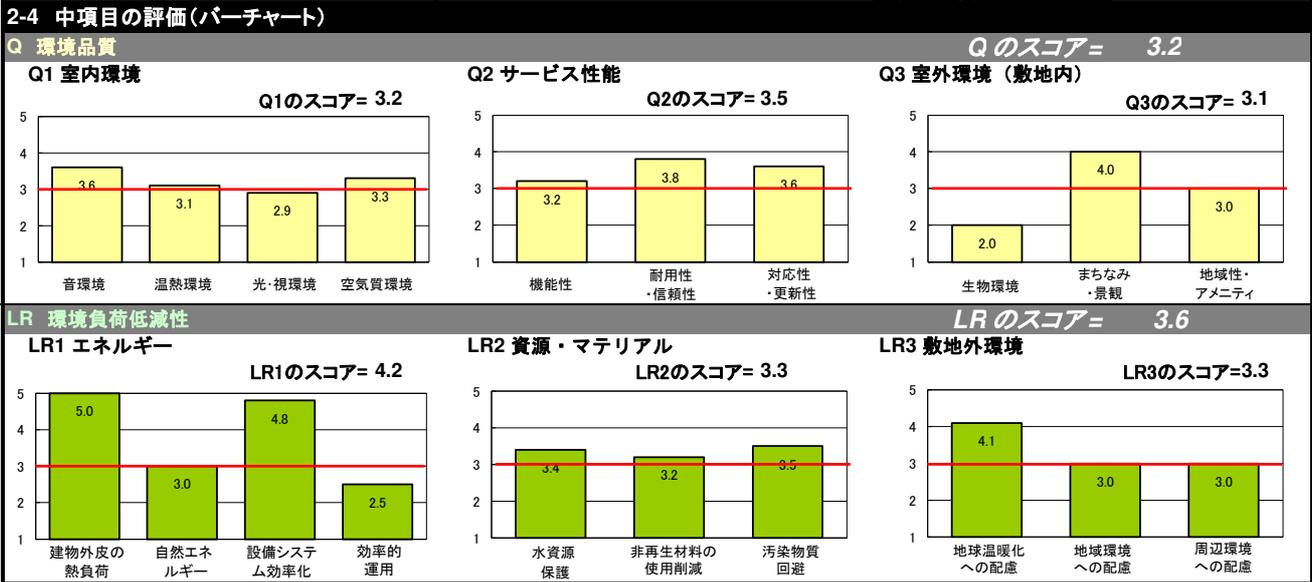
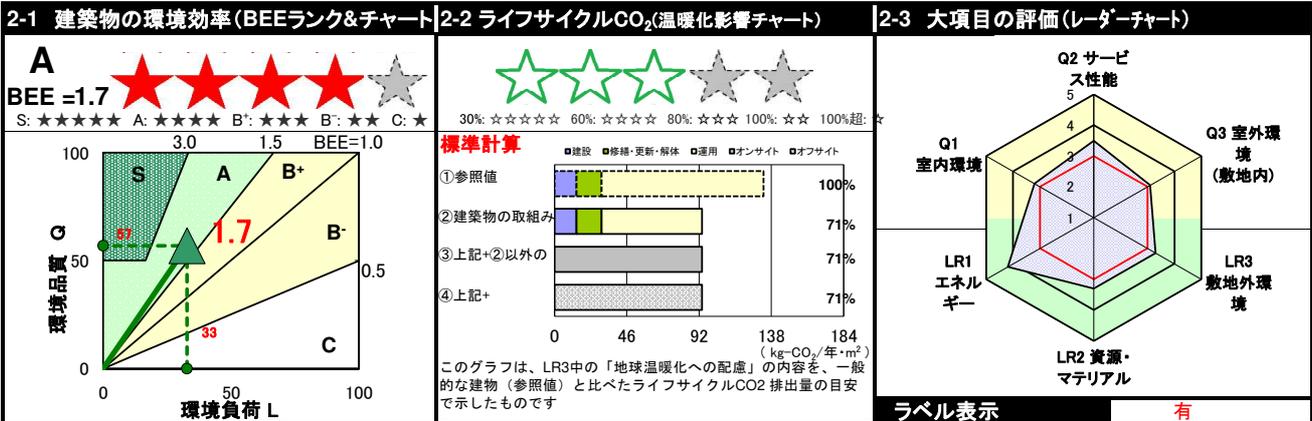


CASBEE[®] 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪 みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)本町3丁目プロジェクト		
建設地	中央区本町3丁目、安土町		
建築用途	事務所、飲食店		
建築主	野村不動産(株)		
設計者	(株)竹中工務店		
敷地面積	1,479.25 m ²		
建築面積	1,007.54 m ²		
延床面積	14,107.05 m ²		
構造/階数	S造 / 地上14階、地下1階		
完了年(予定)	2025年4月		



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>働き方の多様性に対応したフレキシブルなオフィス。庇による日射制御や断熱性能を高めた外装、高効率空調機器等による省エネルギー、利用継続性に優れた免震構造を採用し、サステナブルなワークプレイスを提供する。</p>		<p>その他</p> <p>特になし。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>汚染物質の発生源を最小化することで、室内の空気質環境向上を促進する。音環境については建具を遮音性能の高いものを使用し、室内仕上に吸音材を使用することで残響を抑制し、会話が聞き取りやすい室内環境とする。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>免震構造、耐用年数の長い設備配管・ダクトを採用し、機能の耐用性を向上させる。また十分な階高を確保し、将来の模様替えや用途変更への対応性を高める。更に、防汚性の高い建材の使用により、維持管理に配慮する。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>街角に面して公開空地と2層吹抜のピロティを設け、雨宿り等に供する都市空間とする。歩道状空地の並木は周辺のまちなみに心地よい緑の景観を形成し、低層部の外壁面を緑化することで歩行空間の暑熱環境を緩和する。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>高効率空調機器の採用、全面的なLED照明の採用により、一次エネルギー消費量を抑えた省エネ設計とする。また各エネルギー消費量を年間にわたって把握し、ベンチマーク比較を行うことで、効率的な運用に取り組む。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型器具・自動水栓の採用による水資源保護に努める。また、再利用可能な建材を採用するなど非再生資源使用量の最小化に努める。更に、フロンを含まない断熱材の利用や有害物質を含まない建材の利用に努める。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>大気汚染の原因となる燃焼機器を用いない計画とする。また、省エネ設計による運用時の二酸化炭素排出量低減、分別回収ボックスの設置による廃棄物処理へ配慮により、地域インフラに与える負荷を低減するよう努める。</p>

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.7

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.1
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.8
配慮事項		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) -	非住宅部分[BPI][BPI _m] 0.79	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.62	住宅部分[BEI] -	非住宅部分[BEI][BEI _m] 0.62